

	レベル	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
マネジメント能力	レベルの目標	助言を受けながらマニュアルに沿って業務を遂行できる	マニュアルを理解し安全に業務を遂行できる	マニュアルに基づき、状況に応じて行動し、リーダーシップを発揮できる	安全な医療を提供するために改善策を提案できる	安全な医療を提供するために関係する職種とともに協働する
	安全管理	助言を受けながら院内感染予防対策の基本がわかり、スタンダードプリコーションを実施できる	医療安全・院内感染防止策のマニュアルを理解し行動できる	医療安全、院内感染防止策マニュアルに基づき、状況に応じて安全な方法を選択できる	所属部署内の医療安全及び院内感染対策に関する問題を把握し、改善策を提案できる	組織の安全文化の醸成を推進できる（所属部署のリスクマネジメントを考え指導できる）
		助言を受けながら医療安全マニュアルに沿って、ルールに従い行動できる	医療安全・院内感染防止策を実施し、ケアの受け手や周囲の人々に説明できる	インシデント・アクシデント発生時に状況に応じて適切に対応し、報告できる	医療安全及び院内感染対策が実施できるよう、スタッフに指導できる	所属部署内の医療安全及び院内感染対策について関係する職種に働きかけができる
		助言を受けながらマニュアルに沿ってインシデント発生時の報告ができる	自己のインシデントを振り返ることができる	自己のインシデントレポートから、自己の傾向を分析し行動できる	災害発生時には、リーダーとしての役割を果たし、メンバーを支援することができる	患者の安全が守られるようにスタッフの行動に気を配り指導できる
		助言を受けながら災害発生時の対応が理解できる（防災訓練に参加できる、防災設備を知り、取り扱いができる）	緊急・災害発生時に指示を受けて行動できる	緊急・災害発生時にマニュアルに基づいてリーダーシップを発揮できる	組織の安全（医療安全・感染）文化の醸成に向けて協力できる	災害発生時は状況把握、患者・職員の安全確保を行い、上司に報告できる 災害・防災対策について教育的役割を発揮できる 所属部署のインシデントレポートから業務改善に取り組むことができる
	レベルの目標	助言を受けながら、看護の経済的評価を理解できる	看護の経済的評価を理解し行動できる	看護実践と財務の視点を関連付けて考えることができる	効果的・効率的な視点をもち、部署の業務改善に取り組むことができる	業務改善に取り組み、経営に参画できる
	経営参画 (質の評価と業務改善)	助言を受けながら使用後の物品の後始末ができ、定位置に整理整頓して保管できる（5S活動について理解できる）	看護業務に必要な物品を把握し、使いやすいように整えることができる（5S活動を意識して行動できる）	5S活動を主体的に実施できる	日常業務が円滑に進むように物品を管理できる	医療器材の点検・整備の必要性について指導・管理をできる
		助言を受けながら所属部署の物品管理について理解し行動できる	所属部署の物品管理を理解し行動できる	看護ケアの質の向上のために業務改善の提案ができる	効果的（経営的視点）な看護実践のために必要な方法につ	効果的（経営的視点）な看護実践について継続的に見直し、改善できる
		助言を受けながら注射・処置のコスト漏れがないように請求できる	コストを意識し無駄のないように行動できる	部署に関係している診療報酬がわかる（看護必要度や加算など）	5S活動についてスタッフに指導できる	
	レベルの目標	助言を受けながら、1日の業務に関わる時間の管理をすることができる	優先順位を考え、経済的・効率的な業務の時間管理ができる	チーム全体が安全で効果的に業務を行うための調整・時間管理ができる	所属部署全体が安全で効果的に業務を行うための調整・時間管理ができる	多職種との連携を図り、所属部署の時間管理を推進できる
時間管理	時間を守る（勤務；出勤時間・退勤時間・研修・会議・患者との約束）	業務の優先度を考え一日の行動計画を立てることができる、効果的・効率的に業務を行い、時間内に終了できる（日常業務を時間内に終了できるように）	メンバー業務を把握し、効果的・効率的に業務が終了する様チーム内の調整ができる	部署内における業務調整、業務分担に関わることができる	多職種と連携を図り、業務分担や業務調整を行い、時間管理を指導できる	
	日常業務が時間内に終了できるように自分の行動計画を立てることができる	計画外の業務に対し、効果的・効率的に業務を行うことができる		予定外の出来事に対応し、ケアやメンバーの活動時間を調整することができる		
レベルの目標	守秘義務や個人情報保護について理解し、遵守できる	医療情報システムを理解し安全に活用できる	得られた情報をケアの受け手やその関係者と活用することができる	得られた情報を多職種による医療チーム内で共有し、チーム活動に役立てることができる	医療に関する情報を把握し、看護の質向上に役立てる	
情報管理	守秘義務とは何かを理解し遵守できる	医療情報システムの運用上の注意点を理解し、安全に活用できる（オーダーリング、電子カルテ、部門システムなど）	ケアの受け手に関する情報をチームメンバーと共有できる	ケアの受け手に関する情報を多職種間で共有することができる	病院の経営管理に関する情報に関心をもち、情報収集をできる（平均在院日数、病床稼働率、看護必要度、褥瘡発生率、アクシデント発生数等）	
	助言を受けながら共有すべき情報が何かを理解できる		共有した情報を看護実践に活用できる	共有した情報をチーム活動に活かすことができる	情報管理について指導できる（守秘義務、電子カルテ取扱上の注意点等） 収集した情報から安全で質の高い看護の提供へ活かすことができる	
教育・研究能力	レベルの目標	自己の課題に対して助言を受けて学習できる	自己の学習課題を明確にして自主的に学習できる	自己の成長と仕事が円滑に進むことにより患者の利益につながることを理解する	自己のキャリア開発に向けて主体的に取り組む 所属部署の看護の質を高めるために研究的視点で取り組む	組織における教育的な役割を率先して発揮できる 看護研究を実践・活用し看護の質を高める
	教育・研究	所属部署で必要な知識や技術を自主的に学習できる	自己の課題に対し、必要な院内外の研修や勉強会に主体的に参加できる	所属部署での看護実践に必要な専門的な知識・技術を高めることができる	自己の知識において不足している領域を知り、学習できる（専門領域の研修会や学会に参加）	適切な看護サービスを提供するために、マネジメントについて学習できる
		指導により学習課題を見出すことができる	不足している知識や技術を補足・強化する学習ができる（専門誌などから新しい情報を得ることができる e-ラーニングも含む）	後輩に学習の支援ができる（所属部署の一般的な疾患について後輩に説明できる）（必要な知識・技術を習得できるように指導できる）	組織ニーズを意識しながら、専門職業人として自己のキャリアについて考え行動できる	教育的な関わりのためのスキルについて学習できる（病院・組織運営のための研修に参加など）
		疑問点を先輩に聞くことができる		自己の目指す方向性を意識して院内外の研修に参加し内容をメンバーに伝達できる	所属部署の勉強会の企画や運営に参画できる	所属部署の教育計画の企画・運営に参画できる
		看護実践する上で必要な書籍や文献を調べることができる（看護系雑誌を読む、e-ラーニングを含む）	先輩からの質問、相談などに対し、学習支援ができる（学生を含む）	看護業務上の課題を研究的視点で考えることができる（所属部署で行われる研究への協力・看護上の課題について書籍や先行文献の活用）	後輩及び学生の役割モデルとなり看護を実践できる	研修や講演会への参加を呼びかけ、学習できる雰囲気をつくる（スタッフに学習への動機付けを行う）
		研修や勉強会、看護研究発表会等に積極的に参加している（参加できない場合は資料を読んで学習できる）	受け持ち患者のケースから自身の関わりを振り返ることができる		所属部署の課題解決に向けて、研究的に取り組むことができる（研究結果を日常の看護に活用）	看護研究から得た成果を臨床に応用できる 所属部署の課題解決に向けて研究を支援できる スタッフへの教育的な助言・指導ができる
レベルの目標	社会人、専門職業人としてのマナーを身につけて行動できる	社会人、専門職業人としての責任、協調性を持ち行動できる	自施設の組織人としての役割を自覚し行動する	所属部署の目標達成に向けて役割発揮できる	自施設の目標達成に向けて、多職種と協働できる	
組織的役割遂行能力	組織的役割遂行	接遇・身だしなみに配慮できる（社会人としてのマナーを身に付け、言葉遣い、態度、自ら挨拶できる等）	社会人・専門職業人として自分の立場と役割を自覚できる	自分の役割を理解し、周囲と協力しながら行動できる（自分の態度や言葉に責任を持ち、行動できる）	夜勤や休日に、看護単位（課長代行）の責任者としての役割行動をとることができる	チーム医療の推進に向け調整的役割を発揮できる
		自己の健康管理を心がけることができる（ストレスを自覚したら、誰かに相談できる）	地域の現状に関心を持つことができる	看護界の動向に関心を持つことができる	所属部署の目標達成に向けリーダーシップを発揮し、役割を果たすことができる	所属部署の課題に対して、チーム全体で問題解決に向けた行動ができるよう指導できる
		職場の規律を理解し行動できる	自施設（病院・看護部）の目標がわかる	部署の目標達成に向けて行動できる	仕事に誇りをもち、後輩の模範となることができる	病院の方針を理解し、多職種と連携・協働できる
		自施設（病院・看護部）の理念が言える			診療報酬体系に関心をもち自施設に結びつけて考えることができる	看護に関わる政策や医療経済を理解できる